

平成 26 年 2 月 14 日

南の風 58

南部ミニバスケットボール連盟
会 長 藤原 敬一

たいへん遅くなってしまいましたが、

六ツ川チームの男子の皆さん！！

全国大会出場おめでとうございます！！

関東大会では惜しくも準優勝でしたが、決勝での負けをチームの選手やスタッフがきちんと受け止めチャレンジカップに臨んだ結果だと思えます。南部連盟の会長としてうれしいかぎりです。また、六ツ川チームの菊地ヘッドコーチは、私の教え子でもあります。二重の喜びです。本当におめでとうございます。

3月28日～30日に、東京の代々木体育館で行われる全国大会では、神奈川県代表として全国制覇を目指して、選手、スタッフ、保護者会、OB、OGの皆さんが一丸となって、全力でがんばってください。南部連盟はもちろんのこと、横浜、神奈川のチームが熱い声援を送ることと思います。

目指せ、全国制覇！！！！ がんばれ！！！！ 六ツ川！！！！

さて、横浜では各地区で、6年生にとって最後の冬季大会（名称は様々ですが）や来季に向けての新人戦が行われています。

冬季大会は、それぞれのチームにとって総仕上げです。選手は、自分の課題がゲームの中で克服できたか、コーチにとっては指導・支援したことを、選手がゲームの中でプレイできたかが問われます。

「勝ち、負け」の結果だけではありません。内容が大事です。選手もコーチも、ぜひ1年間を振り返って見てください。

コーチの振り返りを中心に話を進めます。《例を挙げます》

《全体の振り返り》

- ①選手との信頼関係は築けていたか。
- ②選手一人ひとりの実態に合ったオフenseの形態であったか。
- ③5人の協力が機能したディフェンスであったか。（マンツーマンでもゾーンでも）
- ④練習計画や内容は適切であったか。
- ⑤練習ゲームや遠征は効果的であったか。
- ⑥スタッフ間や保護者会との意思疎通は十分成されていたか。

上記はあくまで例ですが、チームでぜひ振り返って見てください。当然ながら、選手と振り返ることは必須です。冬季大会は対戦が多い、各地区のチームとのゲームです。年間の反省をするには適しています。コーチ自身（他のコーチと共に）が振り返りをすることで、成功したことや、課題として残ったことが見えてきます。振り返りはコーチにとって、来年度に向けての大きな財産となります。